

# 「シュバラール博士講演会」および「教授人間学理論ワークショップ」のご案内

主催：JSPS 科研プロジェクト「中等教育を一貫する論証指導カリキュラム開発」

後援：日本数学教育学会 全国数学教育学会

## イブ・シュバラール博士 講演会（参加費無料）

日時：平成 28 年 10 月 10 日（月/祝）：14：00 ～ 16：00

場所：大阪大学中之島センター 10F 佐治敬三メモリアルホール

題目：明日の社会における数学教育と数学教育学

Some considerations on the possible future of mathematics education and mathematics education research in tomorrow's societies

※ 講演は英語で行われます（同時通訳有り）。事前参加申込をお願いします。参加申込の際は、件名を「講演会参加申込」として、お名前とご所属をメールでご連絡下さい。

## 教授人間学理論ワークショップ（参加費無料，定員 30 名）

日時：[1 日目] 平成 28 年 10 月 11 日（火）：14：00 ～ 17：00

[2 日目] 平成 28 年 10 月 12 日（水）：9：00 ～ 12：00

場所：大阪大学中之島センター 4F 404

※ ワークショップは英語で行われます。事前参加申込をお願いします。参加申込の際は、件名を「ワークショップ参加申込」として、お名前とご所属をメールでご連絡下さい。

## 講師のご紹介

### イブ・シュバラール博士 [エクス=マルセイユ大学（フランス）名誉教授]

シュバラール博士は、数学教育国際委員会 ICMI のフロデンタール賞を受賞した、世界的に著名な研究者であり、教授学的転置理論やそれを発展させた教授人間学理論の創案者として知られています。近年では、そうした理論的知見に基づいて、これまでの数学指導の捉えとは全く異なる、新たな数学指導のあり方（世界探究パラダイム）を提唱されています。



### マリアンナ・ボスク博士 [ラモン・リュイ大学（スペイン）教授]

ボスク博士は、教授人間学理論グループの中心人物であり、スペイン語圏・フランス語圏のみならず、国際的に活躍されている研究者です。フランスを起源とする数学教授学及び教授人間学理論の基盤の構築と発展に寄与するとともに、これらの国際的な認知に大きく貢献してきました。近年は、代数教育の文脈で数学的モデル化の研究を展開されています。



博士らの最近の業績には次のようなものがあります。

Chevallard, Y. (2015). Teaching mathematics in tomorrow's society: A case for an oncoming counterparadigm. In S. J. Cho (Ed.) *The Proceedings of the 12th International Congress on Mathematics Education* (pp.173-187). Springer. [翻訳：シュバラール, Y. (2016). 「明日の社会における数学指導：来たるべきカウンターパラダイムの弁護」. 『上越数学教育研究』, 31, 73-87.]

Bosch, M. (2015). Doing research within the anthropological theory of the didactic: The case of school algebra. In S. J. Cho (Ed.). *Selected regular lectures from the 12th International Congress on Mathematical Education* (pp. 51-69). Springer.

お問い合わせ（参加申込先）：[mathedu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:mathedu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

プロジェクト代表：溝口達也（鳥取大学），事務局担当：真野祐輔（大阪教育大学）